

サポーターリンクス 保有機器

2023年12月5日現在

聞こえにくさに関する支援機器

ロジャーオン



指向性マイク（発信機）

使い方：話者の口元・胸元に付けて、音を拾う。ディスカッション時にテーブルに置いて使用したり、複数本を同時に使用することができる。教室の音響設備に接続すると、教室に投映しているDVDの音声などを受信機に送ることも可能。

ロジャーネックループ



ロジャーオンの受信機

使い方：補聴器装用者が首にかけることで、ロジャーオンの音を聴くことができる。その他、本機はUSB-Cやステレオジャックを備えているため、iPadなどの機器と接続して、ロジャーオンが拾った音声をUDトークアプリなどで再利用することも可能。

AmiVoice Front WT01



Bluetoothマイク（UDトーク用マイク）

使い方：通常のBTマイクと同様のことができる他、UDトークアプリがインストールされたデバイスと接続して使用することで、よりよい認識率を実現することができる。ただし、指向性と接続距離はロジャーに劣る。

UDトーク（アプリ）



UDトーク®
コミュニケーション支援・会話の見える化アプリ

音声認識アプリ（Speech-to-Text）

使い方：音声は文字化される。話者が拙かったり、マイクに雑音が入ることにより誤認識が出た場合は、連携したPC等で認識結果を修正することができる。法人プラン契約済み。iOS版・iPadOS版では録音も可能。

iRig2（周辺機器）



オーディオインターフェイス

使い方：ロジャーなどのマイクや教室の音響設備とiPad等のデバイスを接続する際、マイクや音響設備の出力ポートとデバイス側の入力ポートの型が合わない場合に使用。

聞こえすぎることにに関する支援機器

QuietOn3.1



ノイズキャンセリング耳栓

使い方：聴覚過敏などがある場合に使用。ヘッドホン型聴覚保護具の使用感が合わない人にも利用可。ノイズキャンセリングの程度（強）のため、聞き取りが不十分になる場合は録音やUDトークを併用することもある。なお、ケースを充電しておけば、耳栓をケースに収納するだけで耳栓本体を充電することができる。

BOSE QuietComfort 45



ノイズキャンセリングヘッドホン

使い方：聴覚過敏などがある場合に使用。耳穴式の聴覚保護具の使用感が合わない人にも利用可。ノイズキャンセリングの程度（中～強）。ノイズキャンセリングモードボタンを押して、**Aware**モードに切り替えることで、ノイズキャンセリング機能をオフにすることもできる。音楽も聴くことができるため、聴覚保護だけでなく、リラックス効果を狙った利用も可。



収納ケースに入った状態

MOLDEX耳栓8種類セット



ウレタンフォームの耳栓

使い方：聴覚過敏などがある場合に使用。使い捨て。ノイズキャンセリング機能はないため、音量そのもののコントロールが主。耳栓は、その大きさや形状により使用感が大きく異なるため、試用に最適。

読みにくいことに関する支援機器

Google レンズ (アプリ)



Google レンズ

スマホカメラを利用した多機能アプリ

使い方：OCR（光学的文字認識）機能により、文章を音で聴くことができる。iPhone等にも同様の機能あり。

上肢機能や視覚そのものに障害がある場合は、PCやスマホのアクセシビリティ機能を利用するなど、別の解決方法を要する。

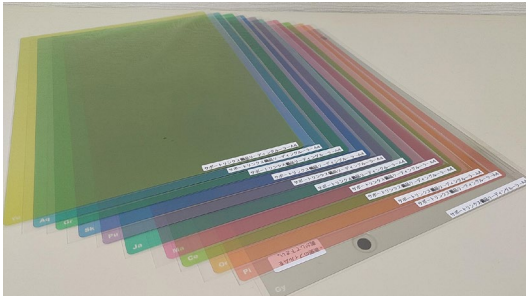
NazoritAI pro



ハンディ型のOCRデバイス

使い方：OCR（光学的文字認識）機能により、文章をなぞることで音として聴くことができる。音声認識機能があるため、声を文字化することも可能。上肢機能や視覚そのものに障害がある場合は、別の解決方法を要する。

リーディングルーラー(A4)



用紙からの反射を抑えるフィルター

使い方：書籍のページやプリント全体を覆うことで、用紙からの光の反射などによって発生するヴィジュアルストレス（文字がかすれて見えたり、動いているように見える）を抑え、文字の読み取りをスムーズにする。11色のうち、どの色が最適化は個々人や照明・用紙の色により異なる。

リーディングルーラー(小)



用紙からの反射を抑えるフィルター

使い方：用紙からの光の反射などによって発生するヴィジュアルストレスを抑える他、ルーラーにはガイドラインが引かれているため、行を読み飛ばしたり、何度も同じ行を読んでしまうことを防ぐ効果あり。5色のうち、どの色が最適化は個々人や照明・用紙の色により異なる。

入力しにくいことに関する支援機器

UDトーク文字入力（アプリ）



UDトーク文字入力

Win・Mac上で動く音声入力アプリ

使い方：UDトーク文字入力をインストールしたPCとUDトークをインストールしたスマホ等のデバイスをQRコード読み込みによって接続することで、スマホ等が入力装置になる。音声入力だけでなく、スマホ上のキーボードも有効となるため、フリック入力にも対応。

FlickTyper BT



スマホを入力端末化するための Dongle

使い方：Win・MacPCにこの Dongle を差し、スマホにインストールしたアプリを立ち上げることで、スマホ等が入力装置になる。スマホ上のキーボードも有効となるため、フリック入力にも対応。

居合わせることに関する支援機器

MeetingOwl Pro



360度カメラ（マイク・スピーカー内蔵）

使い方：PCに接続して、TeamsやZoomなどのカメラ・マイクとして使用。カメラロックやズーム範囲などはスマホアプリから操作・設定できる。

360度映像はもちろん、声と体のシルエットに反応して、発話のあった人やディスカッションの参加者を映し出す。もう1台接続して、2台運用すれば、より広い範囲・多くの参加者の声と様子を写すことができる。

KAIGIO CAM360

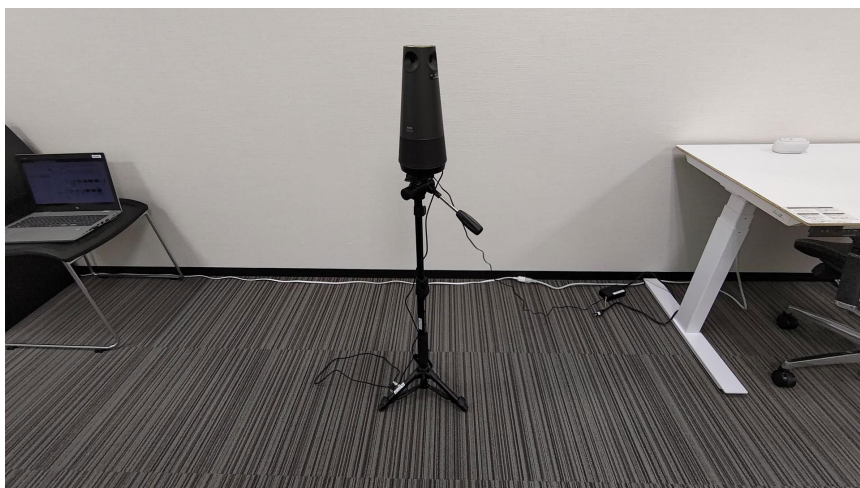


360度カメラ（マイク・スピーカー内蔵）

使い方：PCに接続して、TeamsやZoomなどのカメラ・マイクとして使用。カメラモードの変更やミュートなど、本体だけで操作可能。

360度映像はもちろん、体のシルエットに反応して、ディスカッションの参加者を最大9人、または4人まで分割して表示できる。その他のカメラモードは上下2分割（180° + 180°）モード、1画面（120°）モードも選択できる。

三脚と組み合わせた運用例



姿勢を維持することに関する支援機器

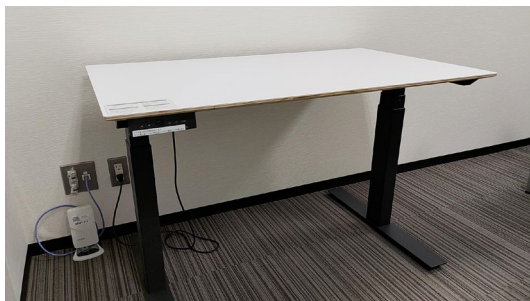
ジャンボレスト



様々な机に設置可能なひじ置き

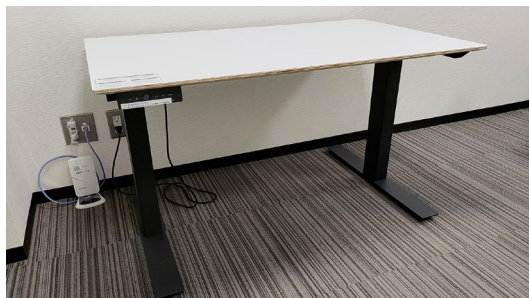
使い方：わずか800gで、耐荷重70kg。ひじ置きとしてだけでなく、立ち上がり動作の支えとして使用できる。天板の厚さ（40mm以内）に合わせた調整が可能。アームを外せばコンパクトに持ち運べる。また、片側でなく、左右両側に設置することで、体幹保持が困難な方の姿勢維持にも役立つ。

FeEL（昇降デスク）



電動昇降デスク

使い方：昇降幅が**64cm～129cm**、耐荷重**70kg**。同じ姿勢を取り続けることができない方に向けて、座椅子やバランスボールに座った高さ～スタンディングデスクとして使用する。昇降動作は**43デシベル**で静か。



縮めた状態



伸ばした状態

エルゴヒューマンフィット



各部調整可能チェア

使い方：座面の前後・上下、ランバーサポート（腰）の**上下した状態**、ヘッドレストの前後・上下、アームレストの前後左右・上下が調整可能。リクライニング機能あり。同じ姿勢を取り続けることにより、痛みや疲れが出やすい方に向けて使用。

バランスチェア



バランスボール

使い方：バランスボールとしてだけでなく、台座付きのため、イスやオットマンとして利用可能。同じ姿勢で痛みや疲れが出た場合、リラックスのためにも利用できる。